

山口 茜さん（バドミントン）

応援レポート

第71回全日本総合バドミントン選手権

2017年11月30日（木）～12月3日（日） 駒沢公園体育館

日本一の名をかけて。3年ぶり2度目の優勝をめざす

国際試合で安定した成績を積み、世界ランキング2位（11月30日時点）にまでなった山口さん。日本一を決める全日本総合バドミントン大会での目標は、もちろん優勝だ。

2回戦 11月30日（木）

1回戦を勝ち上がった2回戦の相手は星選手。第2ゲームは譲ってしまったが、ファイナルゲームでリズムを取り戻して勝利した。



体幹が強いと評される山口さん。第2ゲームを落としたが、余裕も感じられた



●バドミントンの基礎知識●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム（第1ゲーム）、セカンドゲーム（第2ゲーム）と進め、1対1になった場合は、ファイナルゲーム（第3ゲーム）が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

準々決勝 12月1日(金)

迫られても焦らず、ガマンして勝機をつかんだ

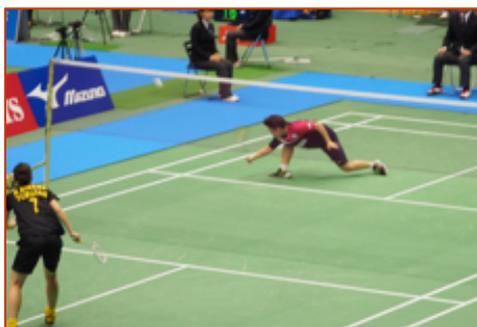
準々決勝は苦戦となった。第1ゲームは先取されてしまった。「仁平選手の動きが良かった」と、第2ゲームも中盤まで負け越し。なんとか粘ってファイナルゲーム

に持ち込んだが、お互いに1点を追い、コートにダイブしまくる激しい展開に。“茜ちゃん1本！”と応援団は一喜一憂。

最後には山口さんが点を

重ねて勝利を納めることができた。

試合後のインタビューで「諦めずに粘っていたら、勝てると思っていた。相手より国際試合の経験もあるし、ラリーを制するチカラが上だったのでは」と山口さんが勝因を語ってくれた。



ひざは？と聞かれて「大丈夫です」

準決勝 12月2日(土)

一昨年、去年の雪辱を果たして決勝へ

対戦相手は、昨年決勝で敗れた佐藤選手。一昨年の準決勝でも敗れている強敵で、今回も左右前後にショットを打ち込んでくるが、山口さんは素早く対応。難しいショットをさらに難しい場所に打ち返して、会場も沸いた。結果は2-0のストレート勝ち。「連戦の疲れが二人とも残っている中で、最初に動いて行けたことが良かった」と山口さん。「お客さんがたくさん入っていたし、楽し

んでもらえるようなプレーをしたかった。歓声も聞こえて自分も楽しめました。」



山口さんがシャトルを叩き込んで決勝進出

シングルス 決勝 12月3日(日)

決勝の競り合いも楽しんでプレー。3年ぶり2回目の優勝！

決勝の序盤は山口さんが先行。「途中までは自分らしいショットが決まったけど、大堀選手のネット前のプレーがとても良かった」と、第1ゲーム後半に点差を詰められてしまう。20-20で延

長となって、ゲームを取ったのは大堀選手。

第2ゲームは山口さんがスピードを上げて連続ポイント、ゲームカウント1-1のスタートラインに戻した。応援団も一服したが、ファイナルゲー

ムは1点を争う緊張シーンの連続。際どいショットを打ち返す二人に、会場は大盛り上がりだ。

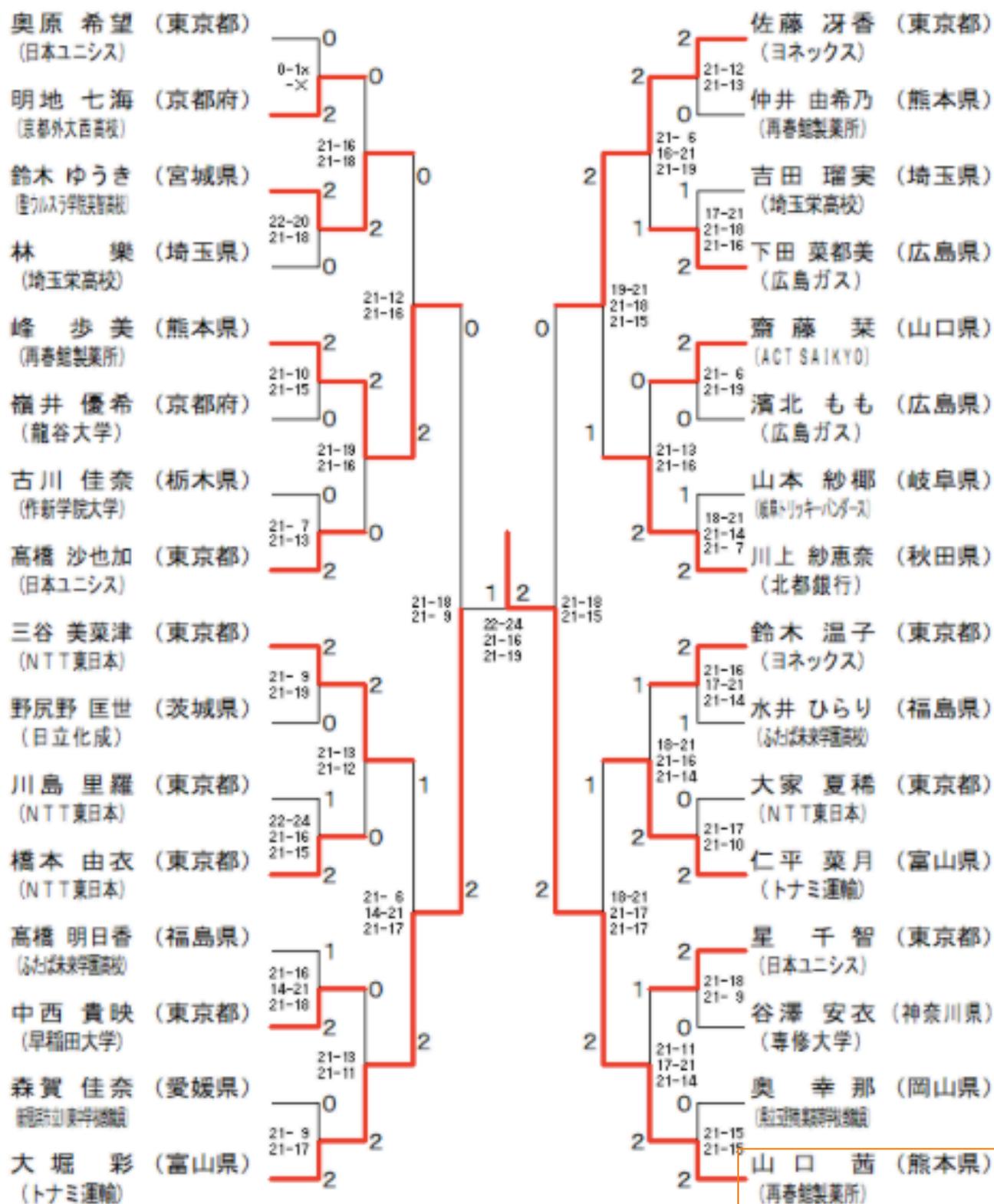
最後にラリーを制して山口さんが勝利を決めた。「会場の応援もあって粘れました。楽しくプレーできました」と笑顔で勝利者インタビューに応えた山口さん。高校2年生で優勝して話題をさらってから3年ぶりの日本チャンピオン、おめでとうございます！



「最初は打って取らせるショットが決まったけど、スピードを緩めたら追いつかれてしまった。その後、大堀さんをどう崩していくかを考えることも含めて、楽しくプレーできました。」
応援側も緊迫の展開とスーパーショットを心臓バクバクで楽しみました(笑)



結果

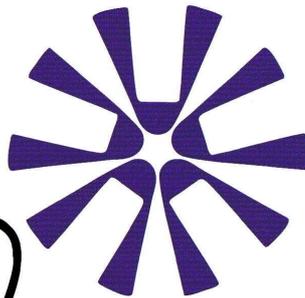


山口さん サイン

内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪

平成29年度 第71回

全日本総合 バドミントン選手権大会



2017.12.3

会 期

平成29年11月28日(火)～12月3日(日)

会 場

駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

主 催

公益財団法人 日本バドミントン協会

後 援

スポーツ庁、東京都、公益財団法人 東京都体育協会、
一般財団法人 上月財団、味の素株式会社

主 管

東京都バドミントン協会